

**臨床研究：中枢神経原発大細胞型 B 細胞性リンパ腫初回治療における
化学療法および自家移植、放射線治療の検討
(人を対象とする医学系研究に関する情報公開)**

当院では多施設共同研究として、上記の臨床研究を実施しています。一般診療における診療録の記載をもとに実施する研究については、厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、その研究内容の情報を公開することが必要とされており研究概要を公開します。

この研究に関して患者さんご自身の診療録情報を利用することに関してご了解頂けない場合は下記の「問い合わせ先」へご連絡下さい。なお、この研究に参加の他の患者さんの個人情報や研究の知的財産についてはお答えできませんのでご了承をお願いします。

[研究課題名]

中枢神経原発大細胞型 B 細胞性リンパ腫初回治療における化学療法および自家移植、放射線治療の検討

[研究責任者]

安城更生病院 血液・腫瘍内科 澤 正史 医師

[研究の概要]

初発中枢神経原発大細胞型 B 細胞性リンパ腫に対する治療として、メソトレキセート (MTX) 大量療法を含む様々な導入療法の有効性と安全性を検証する。次に地固め療法として放射線全脳照射、自家末梢血幹細胞移植を併用した大量化学療法、その他の治療の有効性と安全性を比較検討する。

[研究の方法]

・対象となる患者さん

2010 年 1 月 1 日～2024 年 11 月 30 日の間に中枢神経原発大細胞型 B 細胞性リンパ腫と診断され、当院において MTX 点滴静注を含む化学療法を 1 サイクル以上実施した患者さん

- 利用する検体、診療録情報

検体：なし

診療録情報：性別、治療開始時年齢、病理診断、治療開始時の身体・検査所見、

使用薬剤、治療内容、治療効果、有害事象

- 研究期間 実施許可日（利用または提供を開始する予定日）～2029年3月31日

- 情報の管理

臨床情報は匿名化とパスワード保護を行った後に、研究代表者機関である安城更生病院に暗号化された保存メモリにてデータファイルとして送付し集計と解析を行います。

情報管理責任者 安城更生病院院 度会 正人 医師

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、患者さんの名前・住所など個人を直ちに判別できる情報は削除し研究用の番号を割り付けます。研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表は当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

収集した情報は安城更生病院が責任をもって適切に管理します。研究成果は学会や学術雑誌で発表しますが個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[研究組織]

この研究は、多施設共同研究として実施します。研究で得られた情報は共同研究機関内で利用されることがあります。

研究代表者（研究全体の責任者）：安城更生病院 血液・腫瘍内科 澤 正史 医師

共同研究機関・施設研究責任医師：下表を参照下さい。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

細胞療法科 田地 浩史

電話 0564-21-8111(病院代表)

[共同研究機関・施設研究責任医師]

愛知医科大学病院 血液内科	高見 昭良
愛知県がんセンター病院 血液・細胞療法部	楠本 茂
愛知県厚生連江南厚生病院 血液・腫瘍内科	尾閑 和貴
伊勢赤十字病院 血液内科	藤枝 敦史
一宮市立市民病院 血液内科	西山 誉大
岡崎市民病院 細胞療法科	田地 浩史
岐阜県立多治見病院 血液内科	小澤 幸泰
岐阜市民病院 血液内科	笠原 千嗣
岐阜大学 血液・感染症内科	兼村 信宏
公立陶生病院 血液・腫瘍内科	梶口 智宏
国立病院機構名古屋医療センター 血液内科	飯田 浩充
小牧市民病院 血液内科	綿本 浩一
豊橋市民病院 血液・腫瘍内科	倉橋 信悟
名古屋掖済会病院 血液内科	小島 由美
名古屋市立大学 血液内科	李政 樹
日本赤十字社愛知医療センター	西田 徹也
名古屋第一病院 血液内科	
名古屋大学 血液内科	寺倉 精太郎
浜松医科大学 輸血・細胞治療部	小野 孝明
藤田医科大学 造血細胞移植・細胞療法学	稻本 賢弘
三重大学 血液内科	伊野 和子